

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 委員総会(議事概要メモ)

1. 日 時:令和4年3月24日(木) 11時00分~11時32分

2. 場 所:大阪府庁 特別会議室大

3. 出席者:【会長】吉村 洋文(大阪府知事)

【会長代行】松井 一郎(大阪市長)

【監事】白井 弘(白井公認会計士事務所公認会計士)、川下 清(梅田総合法律事務所弁護士)

【委員】

大阪府、大阪市

公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会

(協賛企業) ※ 50音順

株式会社あきんどスシロー、株式会社池田泉州銀行、小林製薬株式会社

株式会社サイエンス、公益社団法人全日本不動産協会、大日本印刷株式会社

タカラベルモント株式会社、TIS株式会社、日本生命保険相互会社、パナソニック株式会社

株式会社ファーマフーズ、株式会社ミルボン、森永乳業株式会社、株式会社りそな銀行

ロート製薬株式会社、株式会社わかさ生活

(協力機関) ※ 50音順

公益財団法人大阪観光局、大阪工業大学、一般財団法人大阪国際経済振興センター、

地方独立行政法人大阪産業技術研究所、公益財団法人大阪産業局、大阪大学、

大阪府中小企業団体中央会、関西大学、近畿大学、公立大学法人大阪、森ノ宮医療大学、

立命館大学

【総合プロデューサー】森下 竜一(大阪大学大学院 医学系研究科 寄附講座教授)

4. 議 事:議案 大阪パビリオン出展基本計画の件、協賛金規約の制定の件

報告事項 2021年度事業計画及び収支予算の修正、2022年度事業計画・収支予算

5. 議事概要

【事務局】

ただいまから2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会委員総会を開催いたします。

本日の出席者は、お配りしております参考資料の通り、推進委員会役員の皆様、推進委員会委員の関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会、協賛企業各社、協力機関の皆様、推進委員会総合プロデューサーの森下先生にもご参加いただいております。本総会は過半数を上回るご出席いただき、有効に成立していることを報告させていただきます。ここからは、推進委員会の会長でございます吉村知事に議長として進行いただきます。

【吉村会長】

本日は年度末の非常にお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。大阪・関西万博まであと3年ということになりました。いよいよ実行に向けた段階に入ってきています。本日はこれまで議論してきました出展基本計画案、これを成案化するというご議論いただきたいと思います。

森下プロデューサーをはじめ、本当に皆様のご協力で出展に向けて着実に取組が進んでいるということ

に感謝を申し上げます。また後ほど紹介させていただきますけれども、今回も協賛企業6社が推進委員会に委員として新たにご参画いただくことになりました。大阪地元パビリオンへの協賛企業、それから協力団体、これが着実に増えてきているという中で、まさにオール大阪での地元大阪のパビリオンを成功に導きたいと思っていますので、よろしくお願いします。本日はよろしくお願いします。議事に入る前に、今回から新たに推進委員会委員としてご参画いただく、協賛企業のご紹介を事務局からお願いします。

【事務局】

今回新たに推進委員会委員にご参画いただきます企業の皆様を五十音順でご紹介させていただきます。本来でしたら1社ずつ挨拶を賜りたいところですが、時間の都合上、社名の読み上げにかえさせていただきますことをご容赦ください。

株式会社あきんどスシロー様、日本生命保険相互会社様、株式会社ファーマフーズ様、株式会社ミルボン様、森永乳業株式会社様、ロート製薬株式会社様の6社でございます。

【吉村会長】

議事に入りたいと思います。一つ目の議案は、大阪パビリオン出展基本計画策定の件についてです。本議案は、これまでのVer2まで策定していたもの、これを最終の成案化するものです。特にポイントとなる部分について森下総合プロデューサーからご説明をお願いします。

【森下総合プロデューサー】

資料8ページ目、展示ストーリーというところから見ていただければと思います。ここにお示しします内容が、資料9ページにありますディレクター、アドバイザー、スーパーバイザー、多くの方のご意見をもとに作り上げたものになります。大阪府市のパビリオンでめざすものは、ミライの都市生活。2050年の大阪の姿をお見せしたいと思っています。

会場コンセプトは2050年の大阪に2025年の我々が迷い込んだらどうなるか、そうしたミライの都市生活を実際に体験したということがベースになっております。その中では、それぞれの展示あるいは体験等をしていただきながら、大阪の魅力も十分に味わっていただけたらと思っています。

11ページ、まずはアンチエイジングライドと言われています10歳若返りの旅を体験する方々は、まち中に設置されましたスキャニングマシンでそれぞれの方の健康状態等を把握していくということになります。その後、都市移動用のモビリティですが、これは2050年には全自動の運転でこのような車が自動的にまち中を走行する、こういうものを使って移動する中で、移動中にそれぞれの方の肌年齢や脳年齢、あるいはストレス、あるいは血管年齢、いろんなものを測定していったら、着いたと同時に、それぞれの方に最適な10歳若返るための、AIがリコメンドする食事とか、あるいは体験、健康、こういうものが体験できる世界になっているんじゃないか、と考えておりました、そういう世界を皆さんに体験いただこうかと思っています。同時に12ページにありますように、ミライのフード体験、多分2050年には誰も想像しないような食事というものができていると思っておりました、皆様にそういったものを体験してもらえないか、またヘルスケア体験も普段の生活の中で若返るようなことが、健康長寿を維持できるようなことがいろいろとAIによってリコメンドされると思っておりました、こういうものを体験する。ミライの大阪の食文化に関しては、美味しいサステナビリティに対して、健康という観点から新しい食の概念というものを伝えたいと思

っています。

もう一つの目玉が、ミライの医療と書いてありますが、13ページ、2050年の医療の姿を実際に展示、体験していただこうと思っております。この中では、再生医療や遺伝子治療によって120歳まで元気に生きていられる世界に来ているのではないかと、その中では遠隔操作手術によって、これはカプセル内視鏡のイメージですが、実際にこうしたものをお子さん等に体験いただけないか。例えば、鏡を見るだけで健康状態がわかる、あるいは臓器の再生のかたち、こういうもの実際にみなさんに体験いただけるかたちを考えています。

その他に、14ページの中小企業、大阪のスタートアップ、こういうところの技術を紹介するブースを作りまして、万博会場にきた多くの方に大阪のものづくりの良さ、あるいは技術、サービスの良さ、こういうものを存分に体験いただけるようなスペースを考えております。

バーチャル大阪の中にバーチャル大阪パビリオンを設ける予定としておりますので、共通するようなミライのエンターテインメント、XRシアターと最先端のものを体験いただけるように考えておりまして、先ほどの2050年の医療の姿、こういうものもXRシアターでも体験できるようなものを考えております。

最終的にパビリオンの形ってというのは15ページにあります。現在建築基本設計を進めておりまして、外観は大きく変更する予定になっております。ご参考までということで載せておりますが、全体の面積が10,500㎡ということで、万博の中でも政府館と並ぶ最大規模のものになりますし、大阪メトロの駅を降りて、会場に入るとすぐ右側に見えるようなので、ぜひ多くの方に来て、楽しめるようなものになったのではないかと考えておりますので、ご来場お待ちしております。どうもありがとうございます。

【吉村会長】

続きまして、議題1のうち法人設立に関わる部分について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

大阪パビリオン出展基本計画策定の件のうち、法人設立に係る部分につきまして、事務局からご説明申し上げます。資料2の23ページを引き続きご覧ください。

4月以降はいよいよパビリオンの建設、展示、運営等に向けた実行のフェーズに入ります。パビリオンの具体化に向けて推進体制の充実を図っていくために、法人格を有する実行体制が必要と考えております。そこで、その円滑な推進のため、当委員会とは別に、パビリオンの建設、展示、運営等に関する資金管理、運営、建築等の業務を実行する法人として、一般社団法人を新たに設立いたします。

設立時期は夏頃の予定しており、推進委員会のもとで、具体的な業務を実行する法人になることが推進委員会と異なり、社員や役員構成については、迅速な意思決定と透明性を両立しつつ、コンパクトなものとなるよう考えているところです。

なお、同委員会、推進委員会は継続し、パビリオンの企画検討、進捗管理を引き続き行ってまいります。

【吉村会長】

ありがとうございます。次に、二つ目の議題であります大阪パビリオンの協賛金の規約の制定の件について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料3をご覧ください。協賛活動の本格化に伴いまして、協賛金の取り扱いについて必要な事項を規約として定めることとし、制定するものでございます。協賛金を申し込み、および承諾手続き、使途等を定めるものでございます。なお、特典につきましては、別途定めることといたしておりますが、協賛金額に応じて、パビリオンの呼称権やパビリオン内等での企業名の表示、出展権を想定しております。

【吉村会長】

ありがとうございます。次に、報告事項について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

報告事項についてご説明申し上げます。報告事項1、2021年度事業計画および収支予算の修正につきましては、資料4をご覧ください。大阪パビリオンの建設につきましては、ECI方式による施工者の選定を予定しております。工程管理やコスト管理などを行うコンストラクション・マネジメント業務、いわゆるCM業務を追加実施することになりましたことから、今年度の事業計画および収支予算を追加するもので、約1,100万円の増額となっております。

次に、報告事項2、2022年度事業計画、報告事項3、2022年度収支予算についてもご説明させていただきます。資料5をご覧ください。来年度の事業計画ですが、このたび取りまとめた出展基本計画に基づき、建築、展示、行催事、必要な財源確保、レガシーの利活用などについて具体的な計画の策定や、実行に向けた準備、調整を進めております。先ほどご説明申し上げましたように、パビリオンの建設、展示、運営、資金管理と実行業務を担当する社団法人の夏頃の設立に向け、その準備を行ってまいります。

次に資料6をご覧ください。こちらは来年度の収支予算でございます。これら事業計画の実施に必要な収支を計上したものであり、協賛金収入、自治体負担金、その他収入を含め約26億円の予算となっております。

続きまして、その他の報告事項についてご説明させていただきます。資料7をご覧ください。企業様の協賛による出展は、委員会を経て決定することとしており、去る3月1日2日にわたり、第1回出展審査会を開催いたしました。その結果、大阪パビリオンの協賛出展者が決定いたしましたので、この場でご報告させていただきます。株式会社あきんどスシロー様、株式会社サイエンス様、日本生命保険相互会社様、株式会社ファーマフーズ様、株式会社ミルボン様、森永乳業株式会社様、ロート製薬株式会社様の7社の出展が決定いたしました。これらの企業様からの協賛と大阪市パビリオン基金への寄附金を合わせて、現時点での民間によるパビリオン出展の財源は約50億円となっております。来年度も必要に応じ出展審査会を随時開催し、大阪パビリオンへの協賛出展者を決定してまいります。報告事項は以上でございます。

【吉村会長】

ありがとうございます。これまでの議題それから報告事項に対しまして、ご意見をお願いしたいと思います。まず、松井会長代行からお願いします。

【松井会長代行】

総合プロデューサーの森下先生どうもありがとうございます。昨年の2月からこの1年間で出展計画を

ここまで取りまとめていただいて、本当に2050年の未来を2025年に体験できるということで、非常に夢のある、ワクワクする話だと思います。このたび7社の企業がこのパビリオンに出展を決めていただいたこと、大変嬉しく思います。各企業のそれぞれの素晴らしい技術とアイデア、こういうものを提案いただいて、世界の人々が驚くようなパビリオンを作り上げていただきたいと思います。

それから、完全多言語、これは協会の方の話だと思いますけども、この大阪パビリオンもまさに世界中の人が求める健康で長生きするっていうのがまさにコンセプトですので、世界中の方が違和感なく楽しめる、そういう形を実現いただくように、やっぱり多言語化の部分は、注視していただいて、世界中どの言語でも、普通にパビリオン内は楽しめるし、パビリオン内に来た全ての人がそれぞれ相互にコミュニケーションを取れるような、そういうところもぜひよろしくお願いします。

【森下総合プロデューサー】

おっしゃる通り、コロナの後でおそらく多くのインバウンドが来られると思いますので、多言語で対応できる、これは協会の方とお話が多分必要だと思いますが、例えばデジタル地域通貨を軸としたデジタルIDをベースにして、そこに言語も登録してもらえば自動的にAIで翻訳できるという技術が2025年には十分できていると思いますし、食に関してもハラル対応含めて、既に検討しておりますので、ぜひ世界中の方に来ていただいて、日本の魅力を、十分に大阪の魅力を楽しんでいただきたいと思います。ちなみにアジアでコロナ後に行きたい一番は日本だということで、欧米でも2位が日本ということで、非常に多くの方に大阪に来ていただいて、大阪経済の活性化にプラスになると考えていますので、市長の言葉を胸に、さらに対応していきたいなと思います。

【吉村会長】

ありがとうございます。そうでしたら、大阪商工会議所の尾崎会頭お願いいたします。

【尾崎会頭】

ありがとうございます。今、計画を伺いまして、多くの方がワクワクするような未来が感じられる良い計画だなと思いました。大阪はスーパーシティの指定も受けることが確実となっていますので、来場者の想像を超えるような、思い切ったびっくりするような展示ができるのではないかと考えています。

説明の中でありましたけれども、今後具体的に計画、設計が進んでいく中で、ECIでやるとか、そのためにCMをやろうということですが、やはりリユース・リデュース・リサイクルの観点からもここはしっかりやっていたらと思います。ぜひ利活用先の企業、そういう事業者も一緒になって、パビリオンの後の活用、恒久施設なら恒久施設、それから壊す部分はその材料をどうするかっていうことを、できるだけ早い段階からやっていくと、より効率的なリサイクル・リユースができるのではないかと考えています。

若干面倒くさいのかもわかりませんがぜひそこら辺もお願いしたいと思います。

大阪商工会議所は、産業局さんと一緒になって、中小企業・スタートアップを対象とした展示・出展ゾーンの企画運営を担っていくことになっていますが、先週、中小・スタートアップ出展企画推進委員会を開催しまして、実施計画を決定いたしましたので、4月以降公表させていただきたいと思います。

大阪は70年万博を契機に事業を成長発展させた企業がたくさんありますので、万博への関心や思い入れはものすごく強いと感じています。そういう点で、展示・出展ゾーンには多くの中小企業・スタートアップ

にご参加いただけるように進めていきたいと思いを。

出展者が決まったと報告いただきましたけれども、地元の中小企業もこれに加えて広く参画できるよう、例えば調達枠とか行催事とか、中小企業が短期的でいいですけども、交代でいろんな参加ができるという仕組みを考えていただければとお願いします。

それから最後、私事ですけども、今月末で商工会議所の会頭を退任いたしますので、この推進委員会も本日が最後になります。大変お世話になりました。残念ながらコロナ禍で万博の準備が少し遅れているのではないかとというのが気になります。これから3年間、まさに正念場ですので、皆様の本当のご活躍といいますか、期待をしております。大阪パビリオンが最初に計画されたとき、森下先生が10歳若返るというようなことをおっしゃっていましたので、私もぜひ行かなければと思います。もしその効果が出れば、また商工会議所会頭としてREBORNできるかもわかりませんので、非常に期待しております。

本当にお世話になってありがとうございました。

【吉村会長】

尾崎会頭、本当にありがとうございます。思えば、最初の誘致活動のときから、尾崎会頭にもご参加もいただきまして、本当にこれまでご協力もいただいています。退任されるということですけども、また何らかの形で、大阪パビリオン、そして大阪・関西万博にご協力いただきたいと思っておりますので、私からもその点、どうか会頭よろしく願いいたします。本当にお疲れ様でした。

地元の中小企業の皆さんの参加、これは商工会議所の皆さんのご協力なくしてはなかなか実現できないと思っておりますので、ここも引き続きよろしく願いいたします。

【松井会長代行】

会頭はこの3月いっぱいをもって退任されますけども、大阪パビリオンについては、会頭のこれまでのお力添え、そしてこれからも会頭のお力もお借りしたいと思っておりますので、この推進委員会、どのような形でご協力をいただくかというのを、またちょっと相談させていただきたいと思っております。まだまだ十分お元気ですし、10歳若返らなくても、現役の力は十分あると思っておりますので、万博が終わるまで、ちょっとごゆっくりいただくのはちょっといかなものかなと思っておりますので、またご相談に伺います。よろしくお願い致します。

【尾崎会頭】

はい、ありがとうございます。過分なお言葉をいただきまして、私も万博は他人事ではないと思っておりますので、できることがあれば、何なりとやらせていただきたいと思います。ありがとうございました。

【吉村会長】

尾崎会頭、今の話は冗談じゃありませんので、正式に会長と会長代行からお願いすることだと思っておりますがよろしく願いいたします。

【森下総合プロデューサー】

会頭おつかれさまでした。ぜひ何らかの形で、会長・会長代行のご意見を受けて、引き続き関わってい

ただけたらと思います。同時に、お話のありました中小企業スタートアップの参画に関しても、今のお願いしているゾーンだけではなく、ステージであったち、あるいはXRシアター、プロジェクションマッピング等も活用しようと思っておりますので、いろんところでぜひ大阪・関西の魅力を発信するということで、期間は短いかもしれませんが、できるだけ多くの方に参加していただきたいと思っております。ぜひ引き続き、お力を貸していければと思います。どうもありがとうございました。

【吉村会長】

では次に、関西経済同友会の生駒代表幹事からお願いいたします。

【生駒代表幹事】

おはようございます。本日はご説明ありがとうございます。

まずは先ほどの森下総合プロデューサーの説明を聞かせていただきまして、大阪館も前に進んでいることひしひしと感じました。

今回ドバイ万博が遅れたこともありまして、大阪・関西万博への機運については、大阪は盛り上がっているけれども、日本の地方ではまだ何をやるのか知られていないという状況があります。もっともっと盛り上げていかなければならないと思っていたところ、計画の中身が見えてくることで我々も気持ちに乗ってきて、先ほど尾崎会頭が仰っていたように、ワクワクして前のめりになってくるなど感じた次第でございます。また、参画企業が増えてこられているのはとても素晴らしいことで、もっともっと中小企業が参画できるような、仕掛けをお作りいただけたらと感じております。

関西経済同友会では、万博誘致の時から、大阪・関西EXPO委員会を立ち上げておりまして、実は同友会の中で一番人数が多い委員会となっております。今年度はドバイ万博を調査し、関西の万博の機運を盛り上げる活動を行いました。次年度の5月から、今度は2025年大阪・関西万博に向けた国内の機運醸成の実行・実現を行う委員会として立ち上げ、周りの人たちを巻き込んで前に進めていく、そしてこの大阪館にいろんな方々が更に参画できるような機運を作っていきたいと考えております。

これからも更に色々なことが進められていくと思いますが、やはりコロナの影響で少し遅れる気配を感じております。公人の方々も大変お忙しいと思いますが、ご予定ご調整頂きながら、同友会としても色々ご支援させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【森下総合プロデューサー】

私も同友会のメンバーで委員会も入っていますが、本当に多くの方がこられておりまして、関西皆さんの期待を感じています。これから国内機運醸成ということで、やはりまだ関東とか地方の方ではおっしゃるように、十分盛り上がっていないかと思っておりますので、ぜひ同友会のお力もお借りしまして、もっともっと盛り上げさせていきたいと思っておりますので、今後ともぜひよろしくお願い申し上げます。

【吉村会長】

生駒代表幹事ありがとうございます。我々も、どうしてもコロナがあって少し遅れているところがあると思いますから、この機運醸成に向けても、しっかりと府市としても力を入れていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

続きまして、関西経済連合会の関専務理事よろしくお祈いします。

【関専務理事】

関西経済連合会の関でございます。どうぞよろしくお祈いします。今週は万博のキャラクターが発表されまして、大変ネット上でも大いに話題を呼んでいるところでございます。そういう中で、大阪パビリオンの構想が見えてきているということは、先ほどよりお話にあります機運醸成に大変プラスになるだろうと存じます。森下総合プロデューサーからご説明いただきました内容は、ミライの都市生活というストーリーのもとで、子どもから大人までが楽しみながら、未来の医療や大阪の可能性を体感できるコンテンツがふんだんに盛り込まれておりまして、大変期待をしております。ぜひ大阪の総力を結集したパビリオンとなるよう、引き続きよろしくお祈いしたいと存じます。

また、パビリオンの精神はレガシーとして後世に残していく、ハードも含めてだと思ひますけども、その点も重要だと思ひます。このパビリオンを核として、関西全体にその効果が波及していくということを期待申し上げております。

また、今年の2月に私ども関経連と関西経済同友会が関西財界セミナーを開催いたしました。そのテーマの中に、万博のレガシーを盛り込んだところございまして、大変たくさんのご意見、ご議論いただいたところでございます。私ども関経連としましては、新年度からこの万博のレガシーについての考え方をまとめていくように議論を始めたいと存じております。その議論の中では、ぜひ大阪府・大阪市の皆様、そして森下先生はじめ、このパビリオンにかかわっている皆様とも連携してまいりたいと思ひますので、どうぞよろしくお祈いいたします。

【森下総合プロデューサー】

ぜひ関経連とご一緒に、機運醸成とともに、またお話がでてきたレガシーに関して、ぜひお話をされに深めていきたいと思ひます。前回の70年万博は、太陽の塔と鉄鋼館が保存施設に残っておりまして、これがあつたことが今回の2025年の大阪・関西万博がスムーズに大阪の誘致につながつた、大きなレガシーだつたんじゃないかと思ひております。今後25年後、30年後かもしれませんけども、次の万博をやるためにも、しっかりとしたレガシーを残していくということは重要と思ひておりますので、ぜひご意見等をお聞かせ願えればと思ひております。どうもありがとうございます。

【吉村会長】

ありがとうございます。その他、何か委員の皆さんからご意見ありましたらお聞きたいと思ひますが何かございましてでしょうか。あります方は、挙手か合図をしていただけたらと思ひます。

それではないようですので、私も一言ちょっと意見をさせていただけたらと思ひます。まず、出展計画の案を策定いただきまして、本当に関係者の皆さんありがとうございます。

そして参画企業の皆さんが増えてきている、これはまさに中身が具体化していることの証左でもあると思ひますので、今後さらに実行に向けて具体化をプロデューサーよろしくお祈いいたします。

2025年の我々が2050年の未来の大阪に紛れ込んだらどんな生活があるのだろうかということをしてぜひこの大阪・関西万博の大阪パビリオンで体験してもらつ、そういったものにしたいと思ひます。ワクワクするような、未来を感じられるような、未来のフードであつたり、医療であつたり、技術であつたり、生活の

ライフスタイルだったりが大きく変わると思いますし、そしてこっちの方向を向いていこうよ、と言えるようなものをぜひこの大阪パビリオンで実現できたらなと思います。

昔、堺屋先生といろいろお話をしてもらったときに、万博ってというのは単なるテーマ博ではなくて、万博ってというのは異なる時空間の体験だということをおっしゃったことが記憶に残っています。2025年の我々が、異なる時空間の2050年に紛れ込んだらどうなるかという視点を想像力働かせながら、ぜひ素晴らしい大阪パビリオンで実現させたいと思います。2050年の大阪の人たちはどんな未来を夢見ているのだろうかということは、ぜひこの中に入れていただきたいと思います。2050年が終了じゃなくて、2050年の大阪の人たちが次の未来を見ているはずなので、それってどんなのがあるのだろうかという視点も含めて、この未来のパビリオン、ワクワクするような生まれ変わりREBORNのパビリオンをぜひ実現したいと思いますので、よろしく願いをいたします。

そうしましたら、議案について、諮りたいと思います。これから議案1大阪パビリオン出展基本計画策定の件および議案に大阪パビリオン協賛規約制定の件につきまして、採決をいたします。お諮りいたします。本議案はこれを承認することにご異議ございませんでしょうか。

【一同】

異議なし。

【吉村会長】

ご異議なしと認めます。よって議案 1 大阪パビリオン出展基本計画策定の件および議案2大阪パビリオン協賛規約制定の件はこれを承認することに決定いたしました。本日は皆さん本当にお忙しい中ありがとうございました。事務局にお返しをいたします。

【事務局】

皆様どうもありがとうございました。以上をもちまして、本日の委員総会とさせていただきます。ありがとうございました。

以上